

特集

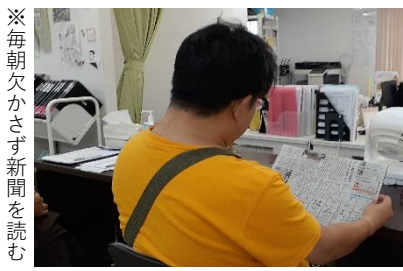
卒業生インタビュー【エピソード】

一言では、まとめられない

就職して半年が過ぎた。彼はいま、何を思うか。

―入社直後はどのようなことを心掛けましたか？
はやく職場に馴染みたいという思いが強かったです。どう振る舞えばよいか迷う時もありましたが、ビジネスマナーに基づいて対応することを心掛けました。そのうえで、自分の立場や役割を把握しようと努めました。

―就職して半年、働き続けるために大切なことは？
周りの人と調和を取ることが大事だと思いました。そ



※毎朝欠かさず新聞を読む

のためには、コミュニケーションを適切に取らなければなりません。チャレジョブに通所していた時も、いろいろな人とコミュニケーションを取ろうと心掛けました。前のめりになり、ちぐはぐになつてしまうこともありましたが、私の場合、空気を読み過ぎてしまうんです。深読みして逆にぎくしゃくしてしまうのでなく、しっかりとコミュニケーションを取つていろいろなことを理解していきたいです。

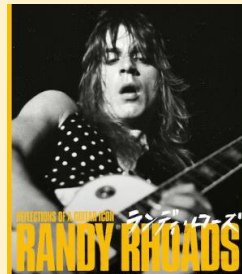
―最後に、あなたにとって「働く」とは？

生活していくため、というのほもちろんあります。ほかにも、いろいろなことが頭に浮かびます。でも、一言ではまとめられないですね。答えのない難しい質問です。

…働くとは「…?」。簡単にまとめないところに、逆に強さを感じた。(終わり)

推しコメ(音楽編) (筆者…godai)

ランディ・ローズ



※映画「ランディ・ローズ」のカバーより

オジー・オズボーン・バンドの初代ギタリスト。1982年3月19日、悲劇の飛行機事故で没す。遺作となったDairy Of A Madmanの中でひと際異彩を放つタイトル曲では、バンドを去りたがっていた彼の叫びにも似たギターソロが聞ける。機会があれば是非！

コラム「自問自答」 (筆者…みなと)

このチャレくま通信にも「推しコメ」というコーナーがあるように、オタク用語だった「推し」という言葉がよく目にするようになった▼私は子どもの頃から様々なジャンルに推しがある。推しは私の暗黒時代に夢と輝きを与えてくれた。なかでも一番長く推しているのは、某男性声優。声優の魅力を文章で伝えるのは困難だが、ミステリアスなイケボである。一目惚れならぬ一耳惚れした推しは、私の心の支えとなつてくれた。何を見ても推しことが連想され、灰色の日常が色鮮やかに染まってしまうだけだ。推しの方が見え方がまるっきり変わってしまふのだ。推しの声を聴くために、まだ生きなくては必要なのだ。現実逃避と言われるかもしれないが、これは「金輪際現れない一番星の生まれ変わり」なのである▼私は今日もまた、某無限の列車で炎の柱と死闘を繰り広げる鬼の声に聴き惚れて、日々を生き抜いている。

【気まぐれ欄】 今月のおすすめ本【Book Review】

※今月は読書好きメンバーによるおすすめ本の「書評」です。



『こう見えて元タカラジェンヌです』
原作：天真みちる
出版社：左右社
発行日：2021年4月7日

【評者：みなと】

宝塚歌劇団で男役を務めていた天真みちるによるエッセイ。「あなたには、脇役のトップスターになってほしい」。皆が輝くトップスターを目指す中、著者が進んだのはおじさん役！酔っぱらいのおじさん、角刈りの車引き、常に薄目の右大臣。若きタカラジェンヌがどのようにおじさんとなるのか。知られざる宝塚の更に知られざる世界が明かされる。自分にしかできない役割を見つける大切さを笑いと共に届けてくれる一冊。



チャレジョブセンター熊谷

熊谷市桜木町1-7-9 武州熊谷駅前ビル 3F

TEL : 048-578-8401 FAX : 048-578-8402

チャレジョブセンターHP

<https://challe-job.co.jp>

